#### 慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	独逸大銀行の発達(上)
Sub Title	
Author	林屋, 友次郎
Publisher	三田学会
Publication year	1914
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.8, No.4 (1914. 5) ,p.460(90)- 480(100)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19140501-0090

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

定する一個の方法としてい 本來英國にては人民投票を以て憲法上の行き惱 法府に法律案を提出する權利をも有するなり。 瑞西の選舉人は立法府が提供したる法律案に對 大なる法律發案の權能をも與へられたり。 して可否を表する權利を有すると共に又實際立 だ否認の權利あるのみならず、之れより逈に重 は此の主義に大に擴張せられて、躍に決定する一個の方法に外ならず、 する格段なる問題に對する選舉人の意思を直接 廢して直接なる民主政治の主義を以てせむとす るがのなり。 人民投票(Referendum)とは代議政治の主義を つあるが、 院は愛蘭自治法案を識決す可からずと唱道せら たるの 日く或種の人民投票を行ふ事是れなり。 若くは兩院間に踏る係爭の問題を決 類なり。 之が論理的結果としては唯だ一ある 人民投票に種々の形式あれども要 此の種の議論は漸次勢を得つ 多数人士の賛成を博 、選舉人には寛で、瑞酉に於て 即ち

> 或は之を排斥す可きも、 さいる可からず。 對者を均しく、 極めて重大なる結果に就て、 り。此の如き方法として、 して、 を適當に思料せずして、輕々しく採用す可きに 推奬す可きが如し。 直接民主政治に向て一歩を轉ずるものな 人民投票は疑るなく代議政治と全然相反 斯る見地より見るときは此の方法を 此の方法を採用して起り得べき 然りと雖る之が究極の結果 要するに、賛成者も反 或は之を歡迎す可く 豫め充分者量を費

# 獨逸大銀行の發達 (上)

一八七〇年の私人銀行 林屋 友 次 郎

は百年の努力空しく再び佛國革命の影響を受け三十年戰役後廢顏の極に達したる獨逸經濟社會

獨逸は英國の如き先進國に比して資本の存在量 新企業を建設して運轉せんが為めに資本並に信 干に雲寛を望むの感を有し 給共に金融機闘の援助に待つてと大なる恰も 投資を危險視して顧みず、 敷籌を輸するのみならず保守的國民は新事業の 用に對する需要日に緊切を加ふるに至りたるも 工業の發達に對する熱望を醸成せり。故に於て 衡社會に 統一的經濟區域の創設は壺中の安を偷みたる經 通機關竝に工業組織の變革竝に關稅同盟に基く 然るに十九世紀の中葉以來蒸氣の應用に伴ふ交 に私人銀行によりて經營せらる 勿論在來の私人銀行中にも相當の資力と經營的 七〇年普佛戰爭の當時に至る迄銀行業務は纔か して 經濟的障壁を設け國民經濟の發達を妨げた 一大刺戟を與へ世界的商業の建設と大 い過ざりき。

商會の如き何れる十七世紀後年の設立に係るる すべく畢竟新時代の要求に適合すべき組織を氷 ものに屬し充分なる資力と信用とを擁して商業 六〇五年の創立に係り現存私人銀行中の最古の 今日獨逸金融業者として 名聲を世界に 馳する を知らざる需要を充さんてと大海の一果にも比 力には自ら制限あるを発れず之を以て飽くてと 手腕を兼ねたるものなきにあらざるも私人の資 ンクフルト」の「ヨハンメルテンス」の如きる て敢て遜色を示せざりしものなり。 曾等何れる其當時以來連綿せる有力私人銀行に めて其調和を計ら して獨逸金融界を風靡したる株式銀行と角逐し ルック、レオ デル て其全力を傾注せり。 」銀行中 y" 1 ン」商會ブライヒロ 」商館「エム、エム、リーブルグ」商 ナツフビルー ざる可らざるに至れり。 商會 ーダーコデル 其他「フラ ジンゴ ブラ

年前ブ ディスコントグゼルシャ エスター家は倫敦に移りネープルス家は の四子は悉く海外に出て維也納、 際金融業者として嚴然濟輩に頂角を顯すに至れ 公債四百萬夕 商會を創設したるは一七八〇年の頃にして丁抹 彼の フランクフ ム、カール」の死後男系の相續者なく 年に廢絕し、 彼の五子中長男が宗家を繼承したる外自餘 ロシア大職大臣「ハンズマン」の主宰せる プルス」巴里に分家したり。 ルト」に有名なる。ロステヤ レレ フランクフルト家亦「ウイルへ ンスレ ル(百五十萬磅)の引受以來國 ۲. ۱۲ フト 」に一切の業務を Y 其後マ ンチ 一九〇一 イル 一八七 エスタ ンチ F

伯林に於ては「シュクレル」の一七一二年を最古とし 人一七二八年)漢堡のション、ベーレンベルヒ、グロツスレルし、ブレスロー、の「エンケル」商會(一六七九年)「アイヒボルーン」(一七九五年)「ブライシュロータ」(一八〇三年) 等を表に於て同 シコクレル」の一七一二年を最古とし「メンデル

> 自餘の私人銀行に至りては普佛戰捷後株式銀行 も有力なるものに属す。 ンベルグ」の「ワッサマン」(一七八一年)等は現存私人銀行中最 タイン商會(一七十九年)ラッペハイム「商會(一七八九年)「バ 七九八年)ベレンツ 商會(一七六九年)リブルグ商會(一七九八年)ドンネル商會 ントゾーヌ商會へ一八〇〇年)「ケルン」のス

餘を敷ふるに過ぎずと云へり。 株式銀行となり伯林のみにて普佛戰爭當時六百 の勃興と共に漸時其勢力を失び遂には株式銀行 有餘行を算したる私人銀行は現今に於て二百の と合併し或は其組織を變更して一般株主を入れ

#### 株式銀行

獨遊銀行、割引會社伯林商事命だれなるのを舉ぐれば左の九行とす。 現今獨逸金融市場に於て最も重要なる地位を占 式銀行中資本金五千馬克以上にして其勢力最 むるものは所謂株式銀行と稱するものにして株 L ス デ ン」銀行、獨逸國立 會社コン 1

する一 典型たるが如く最も包括的業務を營む株式銀行 分業的に局限せられたる預金銀行が英國銀行の を見ざる廣汎複雑なる營業を營むにありて最も 行に對し株式組織なる故を以て名付けられたる 私人銀行の業務も原則としては株式銀行と等し 公債社債の簽行引受、 て接近せざる手形金銀の「アー 假證券の賣買より英國銀行の如き最も危險視し の主要業務たる預金割引貸付の外商工業資金の も亦獨逸金融市場の特産物たらざる可らず。 調達為替手形の引受の如き信用業務外國為替有 **普通株式銀行の營業課目とする所は英國預金行** のなれども其實質に至りては全く他國に類例 預金貸付の業務より 切の業務にして手を染めざるものなし。 新舊會社の管理經營等凡を金融事 是なり。 弦に株式銀行とは私人銀 工業會社に對する投資、 行獨逸商工業銀行、 一切の包括的業務を取扱 F.0 ラー ず 項に關 中獨

ふを得べ クレンリ 私人銀行が果して如何なる程度の活動を營むや 歐洲の各國は共に紛亂絕ゆることなく政府は財 融業務に其全力を傾注せり。 るを避け主として有價證券の發行引受の如き金 しく決算報告を公表する義務を有せざるが故に 銀行を驅りて弦に向はしめたるものと云かべ 附したるが爲め公債の引受は資力豐富なる私人 政窮迫の結果募債に際して比較的有利の條件を らずして寧ろ投資の目的を有したり。 向を帯ぶるてと尠く有價證券の賣買は投機にあ 時代に於ては國民經濟の趨勢未だ資本主義的領 は徒に營業の範圍を膨大して株式銀行と角逐す 式銀行と拮抗すること困難なるが如し。殊に「ノ を知るに由なきも其規模の狹小なる結果到底株 殊に募債に闘しては一 ンデルゾー ーブルグ」の如 きは勿論なれども私人銀行は英國と等 ン、「ブライヒローダ」、「デルブル 種の獲場なるもの存在 き資力豐富なる私人銀行 是れ私人銀行旺盛 加かるに

賢明なる方針と謂ひ難かりしなり。を輸する株式銀行の跡を倣はんとするは決してる私人銀所が殊更資力を割きて規模の點に一籌て一種の株に異ならざれば斯る史的長所を有す

生するに至らしめたる原因なれ つ暇なからしてそ株式銀行の如き特種機關を發 商工業を提げて激かに蒸汽、鐵道の時代に遭遇 **發達遅々として進まず貧弱なる富力と幼稚なる** 資金の需要も亦舊來企業の改良豊或は漸時的擴 し激烈なる國際競争の圏内に参加したるが爲め 張費を補給するを以て足ると異なり金融機闘の 割引商會金融會社株式手形の仲買人等金融機關 分業的發達を遂げ預金銀行殖民地銀行商人銀行 融市場の發達遠く市場の機闘各其沿革に 營するに至りたる所以を索ぬるに英國の如く として各方面に殆ど間然する所なく加之商工業 到底英國の如き分業的機關の自然的發達を俟 して獨逸株式銀行が斯の如き包括的業務を釈 據りて 金

> 而して經濟發達の益々進步するに伴れ固定資金 監別百月の共命に對しるの、一なり。 の程度著しかりしる商業界の發展に對して必 が動資金に對する長期信用の供給を一層擴張せしむる ながらも動産銀行の存在したるあり私人銀行株 ながらも動産銀行の存在したるあり私人銀行株 ながらも動産銀行の存在したるあり私人銀行株 のまてとあらざりしる商業界の發展に對して必 要缺く可らざる短期信用の供給と一層擴張せしむる 要缺く可らざる短期信用の供給と一層擴張せしむる 要缺く可らざる短期信用の供給は之に反し最も 要いる可らざる短期信用の供給は之に反し最も 要いる可らざる短期信用の供給は之に反し最も を を のの程度著しかりしるの、一なり。

信用を博せんか銀行は常に其援助を辭せざるべたする所兩者の關係親密にして顧客にして一度常との關係たる株式銀行に比して個人的色彩を客との關係たる株式銀行に比して個人的色彩を容との關係たる株式銀行に比して個人的色彩を一に數へ時に手形引受の方法によりて信用の供短期信用の供給は私人銀行に於ても主要業務の短期信用の供給は私人銀行に於ても主要業務の

はるべきものといふべし。少にして地方的傾向を脱せざる間に於てのみ行し。然れども斯る特殊の關係たる銀行の規模狭

らざる 用の供給を以て資本の創造なりとなずものなき に甲なる銀行が乙なる顧客の爲めに 與するのみにして直接現金を貸與するものにあ は銀行は單に顧客に對して自己の信用名聲を貸 る如き人と場合とに依りて貸付を諾否すること の方法を採用し一定の内規の下に有價證券の 現今株式銀行により行はるゝ信用供給の方法は 銀行割引會社等の手形引受額は狒込資本額を 3 定の流動的擔保を徴收して私人銀行に見 此為替手形の引受と普通貸付 超過せり、 0 が上に今日銀行が此方法に依 額は夥しき額に上り獨逸銀行ドレステ 的方法によらず主として爲替手形引受 されば往々世人の誤解 振替に過ざる りて供給す と異なる點 て信 如 た

る可らざるや明かなり。
の必要なきは勿論なりと雖此手形を割引すべきの必要なきは勿論なりと雖此手形を割引すべき

得ざる所なり。

のものにして銀行が之に依て商工業者の流動資の確實なる一時的資金の不適合を調節すべき筈からざれども元來短期信用の性質たる將來囘收信用に慣れたる小商人の怨遠の聲を聞くてと勘されば株式銀行の勃興と共に私人銀行の個人的

金を供給せんとするは銀行營業の基礎を不安ならしむるものといふべく殊に在來の私人銀行のので、後のに個人に信用を許容するの弊は彼等をいるに及びては彼我共に非常なる不幸に遭遇せて依賴せんとする悪風潮を醸し一朝恐慌の襲來に依賴せんとするは銀行營業の基礎を不安なされば止まざるべし。

## 三 株式銀行設立時代

行の名あり。マイニングンの中獨逸信用にといて一八五三年に設立せられ別に商 工党を以て『八五三年に設立せられ別に商 工党を以て獨逸工業の發達に貢獻せんとする 萬馬克の資本金を以て營業を開始し、「 四八年同名の私人銀行の營業を繼承して千五百 に係るものにして設立の最も古きものは 式組織の大銀行は何れる Lの「ダムステット ン」の「シャフハウゼン」 」銀行は資本金千七百萬馬 ンの 銀行組合にし 八八五 〇年前後 ダムステ て一八 第目 銀<sup>2</sup>的 つケ 0

> 當時と現在の資本類を對照すれば次の如し。 ど隔世の感あり。試に上記諸銀行に就きて設立 銀行の營業、 られたる株式銀行尠からざれども當時此等の諸 其他來府、漢堡フランクフルト等に於て設立せ 社の設立を奬勵せしが為めに設立せられ 本金千五百萬馬克にて商工業の發達特に株式會 礎を作りたり。 スチヤ に依 組織に變更し資本金三千萬馬克を以て特に割引 **F**" h イルド 信用を供給せんとして此名稱あり。 ンン ズマンの創立になり一八 資本等が現時の隆盛に比較して殆 、。伯林商事。會社は一八五六年資家の營業を繼承して一大發展の基 Fi. 一年前普魯西亞大藏大臣ダビ 立せられ、 伯林に 五六年株式 ななは割引 たり。 後山

遇したるもの夥しく行數に於て實に七十三行資年後來襲したる恐慌期六年間に破産の運命に遭 本額二千百五十萬磅の多きを算せり 数ふるに暇なかりしと雖其反動として一八七三 隨て銀行設立熱叉最も旺盛を極め新銀 國内の富力急激に増加して企業熱其絕頂に達し たる 七二年に至り、 どな は普佛戦捷の結果五 株式銀行の設立 〇年普佛戦争以後にして此年に於 及び商業割引銀行設立 F. V スデ 十億法の償金を獲得 K ン銀行設立せらる。 7 せられ 行の設立 を劃 一八八

割せり。 吸收策に全力を傾注したること最も注目に値す るにあ は當事者の熱心なる努力に歸せざる可らず。 金の需要を増加し之を需むるの手段とし 海外業務の根帯たる短期信用の膨脹は延て其資 干萬馬克純益金二十四萬馬克を舉ぐるを得たる 獨逸銀行と相提携し同期末營業の成績の如きる きに至りたるも一面に於ては當時設立中の倫敦 取引總額四 商業干係の振興を計り之に利便を提供せんとす 計るに偏重 く普佛戦争の勃發となり一頓挫を來すの已むな と共に獨逸と歐洲其他の海外市 たる所は已に同年末營業報告中に明言せる如 るに當り獨逸銀行の當初よりの營業方針と定 「當行の目的とする所は一 然るに此新方針の執行も開業後間もな しと謂ひ 預金期限の長短に從 千萬馬克割引手形數五千五十二件三 し商業界の發展 て銀行營業の上に「新機軸を 切の銀行業務を營 7 に於ける て、預金

現在の資本金類二億馬克にして資本金の大なる

たる獨逸銀行は一八七〇年僅に千五百萬馬克の

-銀行と共に株式銀行中の白眉

て創

せられたり。

しで常時既に存在せる「シャフハウゼン」銀行

伯林商業會社の如き一流の株式銀行

や工業及び鐵道會社の利便を

の營業方針が何れ

此方法に依りて當行の吸收し得たる資金は一時の模傚する所となれり。

を設け、 を見漸時當初の目的に向て進捗せり。 於ては更に一層の發展を遂げ、ブレメン」に支店 は既に開業の運に至り更に横濱上海支店の企畫 計算取引の發達を來し顧客と銀行と共に其利益 始せられたる小切手取引の發達と相俟ちて交互 迄に殆ど全部の引出に遭び剩す所僅かに六萬馬 に浴すべしとの希望を現せり。 克に過ざりしとい 三千三百萬馬克の巨額に達したるや國民 銀行取引 此方法に依りて當行の吸收し得たる資金は一時 十五萬磅の投資をなせる倫敦獨逸銀行 の利益を解するもの尠く同年末に至る ふ。然れど**も此**缺陷を新に開 而して次年度に 0) 未だ

を支配すると共に特に手形株式の賣買に從事せ府ドレスデンに初めて營業を開始し同國の金融百六十萬馬克の資本金を以て「ザツクセン」の首同年十二月ドレスデン銀行設立さる同行は九

逐に分離するに至れり。 本額を有したる獨逸銀行の資本を超過すること 算する時は二億二千萬馬克に上り當時最大の資 議し其翌年より實施したるが為兩行の資本を合 三年に「シャーフハウゼン」銀行組合と聯合を決 林諸銀行との間に激烈なる競爭を開始し一九〇 上一切の事務を總轄するの地位に立ち在來の伯 林支店の設置以來非常なる發展を遂げ しも不幸にして一九〇八年兩行利害の衝突あり 一億馬克にして一時獨逸銀行界に覇を稱したり んとする目的を有したり。 本店は單に名義上に止め伯林支店は事實 然るに一八 八一年伯 -7 F X

## 四海外取引の發達

べたるが如し。銀行が海外に支店を設置し國際なし横濱上海等に支店設置を見たること曩に逃にして已に倫敦獨逸銀行に對して多額の投資を海外取引の進捗は獨逸銀行設立當初よりの方針

他の利便に浴すること尠からず。 ・ は他為替業務を簡易直接に處理するを得て自國 其他為替業務を簡易直接に處理するを得て自國 は他為替業務を簡易直接に處理するを得て自國 は他為替業務を簡易直接に處理するを得て自國

行の如き らざるを悟り在來の倫敦獨逸銀行のみに依賴し 支拂地を倫敦として蒐集さることいか英國に於 普通銀行は單に國內取引にのみ其全力を傾注 鑑み倫敦が世界金融の中心市場とし輕視すべ に倣ひて力を海外取引の方面に分つに至れり。 面の開拓を開却せる諸銀行も漸次獨逸銀行の顰 の以て範とすべからざるなり。 輸出手形の取扱を以て刻下の急務としたる獨逸 て初めて之を云ひ得べく對外商業の發展上特に るを以て足るとの議論は普通銀行以外に商人銀 は到底其目的に達し難きを看取し なる獨逸銀行の當事者は盆々業務の發展に 特種機關を有し世界の為替手形は舉て されば從來此方 カ>

とつ。に至り該行との關係を解きて新に支店を設置し

立に助力を與べ一八八七年に亦漢堡の北獨逸銀行に賣却別、引、會、社会「ラープラダ」銀行の發起をなし一八八〇年に於ける獨逸商業殖民會社の組織改造及び六年に於ける獨逸商業殖民會社の組織改造及び六日本人に受力 は一八七三年後に獨逸銀行に賣却及び獨逸東洋銀行の設立をなせり。

行と合同して一千萬馬克の「ブラジル」銀行を建設したり。其他「ベノスアイレス」の「トロンキスト」 商會に投資し「アントワープ」の「ドウ、バスト」 商會に投資し「アントワープ」の「ドウ、バスト」 商會に投資し「アントワープ」の「ドウ、バスト」 商會に投資し「アントワープ」の「ドウ、バスト」 商會に投資し「アントワープ」の「ドウ、バスト」 商會に投資し「アントワープ」の「ドウ、バスト」 商會に投資し「アントロープ」の「ドウ、バスト」 商會に投資し「アントロープ」の「ドウ、バスト」 商會に投資し「アントロープ」の「ドウ、バスト」 商會に投資し「アントロープ」の「トロンキ設したり。具一九〇〇年に至る迄倫敦に自行の支店を設したり。

の如き海外取引に染手するの餘義なきに至りた 務の成績に徴する多獨逸銀行。ドレスデン」銀行 を專業とせる商人銀行に劣らざる金額を示し徒 に在來の經路を辿りて保守的營業を營むを以て に在來の經路を辿りて保守的營業を營むを以て

るを得べし。(未完)よるものと稱せらるを見れば其發展の一端を知よるものと稱せらるを見れば其發展の一端を知る最大動機は外國銀行殊に獨逸諸銀行の壓迫に

# 英獨市政比較論(其の三)

### 村田岩女郎

有ゆる方法を廻らしたのである。 本置き、之が爲めには所有ゆる手段を講じ、所市の自由よりは、寧ろ特權の設定維持を眼目としたのであつた。議會は都市の要求を容る、にもかであると同時に、議員の財産の保護に重きを置き、之が爲めには所有ゆる手段を講じ、所質のあ方法を廻らしたのである。

し、庶民院に於て亦相當の地步を占めて居る地發生したのであるが、現に今日、貴族院を支配十九世紀中幾多の大都會は大地主の所有地内に

彼等の家や工場や事務所の建てられて居る土地 市の住民は貧富を問はず、 大多數の人民から地代を徵して居るのである。 の「アストア 主階級は、 出來ぬ。 ある。土地獨占の制度及び地主階級の政治的勢 の貴族が飽くまでも富裕で有り、爾餘の者が飽 其土地を所有して居る。而して此の一事は英國 た時代の土地所有者の子孫が今日尚依然として な者である。 は彼等自身の所有地ではない 力を慮外に置い までも貧困で有る事情を説明するに足るので 英國内の土地の殆んど全部を所有し 」家の所有地内に於ける借地人の樣 英國が未だ純然たる農業國であつ 7 英國の都市を了解することは 一様に借地人である 彼等は恰も紅育

の大地主が獨占して居る。而して六千二百名の合王國内の土地の四分の一は實に僅々千二百名土地獨占の範圍は殆んど信じ難い程である。聯

である。 ある。 地は三十一萬二千百五十名の地主の所有する所 大地主は更に他の四 連は額に汗せずして、 名の大地主が獨占して居るのである。 主が實に四百五十萬英加の廣大なる土地を所有 入は盆々増加すると云が順境に身を置い くして都市は大地主の所有地内に發達し、 人口七百萬を算する倫敦の土地の過半は九 驚くではないか、 分の一を獨占し、 借地人は殖え、 僅か二十二名の大地 地代の收 爾餘の たの 地主 の如

の更改に際しては地代を引上げることに努める有者自身が望むる之を賣飛ばすとは出來ぬ。又一般の慣習上、借地人が土地に加へた改良は賃一般の慣習上、借地人が土地に加へた改良は賃一般の慣習上、借地人が土地に加へた改良は賃一般の所有地は世襲財産として保護せられ、所貴族の所有地は世襲財産として保護せられ、所